



## 痔核について

### はじめに

痔疾患とは肛門周囲に生じる病気の総称で、痔核、痔瘻、裂肛の 3 種類に分類されます。日常の診療で遭遇することの多い疾患です。

### 痔の種類

#### 1. 痔核(イボ痔)

肛門を閉鎖するクッション機能を果たしている痔静脈瘤が、次第に増大したものです。痔核には大きく分けて内痔核と外痔核があります。内痔核は進行の度合いで 4 段階に分類されます。

#### 2. 痔瘻(あな痔)

直腸粘膜と肛門上皮の境にある歯状線上の肛門小窩に開口する肛門腺に感染し、肛門周囲膿瘍を生じ、やがて皮膚に開口して瘻管を形成したものです。

#### 3. 裂肛(切れ痔)

肛門上皮に傷が付き、傷が慢性化し見張り疣や肛門ポリープや肛門狭窄を伴う様になったもの。

痔といえば一般に痔核(イボ痔)を指し、かつ肛門疾患で最も頻度が多いため、以下にて痔核に焦点を絞ってお話します。

### 痔核について

痔核は直腸肛門部静脈叢の静脈瘤であるという考えが一般的でしたが、痔核は単に静脈叢の集簇のみならず細動脈も吻合しており、かつ筋肉や結合織などの細かい線維も含まれている事、そして痔核の症状のない正常の人を調べても肛門には痔核がある事も判明しました。つまり肛門部への負担をかける事で肛門閉鎖部に力が加わり、うっ血・出血を来し、より負担が加わると、その部分を支えている組織が断裂し、外へ脱出(脱肛)するようになるのです。

### 原因

一番の原因は便秘です。便秘になると便が硬くなります。排便時に息む事で肛門部を刺激し負担をかけます。下痢便は激しい勢いで排便する事で肛門部を刺激し負担をかけます。長時間の同一姿勢の継続、激しい力仕事、運動、妊娠、出産も肛門部に鬱血を来し負担をかけます。嗜好品ではアルコール、辛い物も影響します。アルコールは肛門部のうっ血を来し、辛いもの

(唐辛子、山葵、胡椒、カレー粉等)も排便の際に肛門部へ刺激を加え負担をかけます。

### 治療方法の種類

日常生活で肛門への負担を注意しつつ、薬で治療する保存療法が基本です。薬で治らず、症状・病状が酷いものに対して外来処置を行い、それでも治らないものや病状の進んだものに対して手術を行います。

**保存療法:**内痔核の場合は保存療法が基本で、坐薬、軟膏などの外用薬と内服薬があります。外用薬は排便時の肛門部への負担を軽減し、痔核により生じる症状(出血、疼痛)を緩和します。他に便秘予防目的で緩下剤の内服も効果が有ります。

**注射療法:**止血しない痔核に対して外来で行う処置ですが条件が有ります。出血を抑える効果は絶大ですが、永続性は有りません。

**ゴム輪結紮療法:**内痔核のみが脱出するタイプに有効な方法で、痔核にゴム輪結紮器で輪ゴムをかけ結紮する方法です。

**手術:**上記治療に抵抗性を示す場合に手術を考慮します。手術は結紮切除術や注射による方法(ジオン注)が行われています。

### おわりに

当院では内痔核治療の経験豊富な外科医が多数在籍しております。肛門疾患でお困りの方はお気軽に当科にご相談下さい。

### 一筆者紹介一

なかむら ともき  
中村 知己



1966 年生。宮城県出身。

2005 年 東海大学医学研究科博士課程修了。

東海大学医学部外科学系 講師。

東海大学附属大磯病院 外科所属。

所属学会：日本外科学会、日本消化器外科学会

日本大腸肛門病学会、日本臨床外科学会、

日本内視鏡外科学会、日本消化器内視鏡学会、日本癌学会、

日本消化器病学会、日本消化管学会、日本癌治療学会